

1. 補助系統の概要(△)

系統名	運営主体	運行事業者	区間	キロ程	運行回数	関係市町村
あいあいバス(北部循環コース)	知多市	知多乗合(株)	朝倉駅から朝倉駅(循環)	27.9 km	9.8 回	東海市 阿久比町
細系統				km	回	
				km	回	
				km	回	

※「細系統」には、補助上同一系統とみなされている系統について、系統ごとの情報を記載(系統名、区間は他の系統と違いが分かるよう記載)

接続の状況(△□)

<接続する系統>
名古屋鉄道常滑線・河和線

<接続される系統>
知多市コミュニティバス南部コース、東海市コミュニティバス中・南ルート、阿久比町循環バスオレンジライン、知多バス朝倉団地線、岡田線、佐布里線

模式図(△□)

2. R5年度の運行状況

事業実施の適切性		《参考数値》 主要指標の推移(△)
計画どおり運行されたか(△)	評価	
計画どおりか。そうでない場合は理由	計画どおり運行した。	
A		

評価の基準<事業実施の適切性>
A: 事業計画どおりの運行回数が確保されている場合
B: 車両故障等運行事業者の責にすべき事由により、運休(一部区間の運休を含む)が生じた場合
C: 系統廃止に至る場合

評価の基準<目標・効果達成状況>
A: 年間目標利用人数を達成できた場合
B1: 年間目標利用人数は達成できなかったものの、目標の75%以上の利用があった場合
B2: 年間目標利用人数は達成できなかったものの、目標の50%以上の利用があった場合
C: 年間利用人数が目標の半数に満たなかった場合

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
年間利用人数【人】	—	21,703	51,064	56,472	61,659
平均乗車密度(実績)	—	2.0	2.1	2.4	2.6
輸送量	(計画)	—	29.4	19.6	20.5
	(実績)	—	20.0	20.5	23.5
収支率(実績)	—	5.2%	5.8%	6.4%	6.3%

目標・効果達成状況			運営主体の所見、理由分析、認識(△)	
評価	目標の達成状況(△)		市町村の所見、理由分析、認識(□)	
A	目標	52,000	(知多市)利用人数は、新型コロナウイルス感染症の収束により、日常生活の移動需要の回復が見られ、昨年度に続き、今年度も目標を達成した。また、令和2年の路線再編以降、利用人数が順調に増加していることから、近隣市町の駅や商業施設への乗り入れなど、地域住民の生活に即した路線の見直しが利用者の増加につながったと考えられる。その他の利用実態としては、通院、名鉄電車との接続利用、自動車を所持していない高齢者や女性等の買い物利用等が多く、雨の日は高校生がバスを利用して通学している。	
	実績	61,659		
	達成率	118.6%		
	要因	令和2年の路線再編により、路線の利便性が向上し、利用者の増加につながったため。	市町村名: 東海市 市町村名: 阿久比町	
運行事業者の所見等(△)			市町村名: 東海市 市町村名: 阿久比町	
(知多乗合) 年間利用人数は、昨年度に続き堅調に増加した。通院と買い物などを目的とする旅客が多く、今後も、市民の交通手段として、更なる利用人数の増加を期待したい。			市町村名: 東海市 市町村名: 阿久比町	

複数市町村を跨ぐ系統としての役割			住民の利用状況(□)			
指標(市町村を跨いでの利用)	利用状況及び所見(△)		市町村名: 東海市 市町村名: 阿久比町			
市町村を跨ぐ利用人数(△)	1,189 人/月	(知多市)東海市にある公立西知多総合病院と、阿久比町にあるカネスエ阿久比店の利用が多い。また、本市東部地区の住民は、隣接する東海市や阿久比町に生活圏があることから、通院、買い物など日常生活の移動手段として利用されている。	市町村名: 東海市	市町村名: 阿久比町	市町村名:	市町村名:
全利用者に占める率(△)	23.1 %		市町村名: 東海市	市町村名: 阿久比町	市町村名:	市町村名:
特記事項	市町を跨ぐ利用人数は推定値		市町村名: 東海市	市町村名: 阿久比町	市町村名:	市町村名:

《参考数値・情報》 その他、運行改善や利用促進に参考となる数値・情報		沿線市町村《沿線の状況等、すべての沿線市町村一括記載》(□)	
運営主体《断面輸送量、競合系統合算断面輸送量、主な停留所乗降者数等》(△)	西知多総合病院バス停 約2,200人/年、南加木屋駅西バス停 約1,400人/年、中平地バス停 約900人/年、カネスエ阿久比店バス停 約2,800人/年	【東海市】 名古屋鉄道南加木屋駅利用者数(R4年度):2,707,867人※ 東海市循環バス中ルート輸送人員(R5年度):106,750人 東海市循環バス南ルート輸送人員(R5年度):94,533人 ※名古屋鉄道駅利用者数は会計年度(4月～3月) 【阿久比町】 カネスエバス停乗降客数:約800人/年	

3. R5年度の取組状況

直近の事業評価結果(△)	運営主体の取組(△)	市町村の取組(□)			
A	事業評価を踏まえた取組	(知多市)バスロケーションシステムについては、利用者がシステムを手軽に使い始められるよう、利用者用のバスマップにアクセス用のQRコードを掲載している。	市町村名： 東海市	市町村名： 阿久比町	市町村名：
改善点とした事項(△)		・バスロケーションシステムの周知 ・高齢者を対象としたバスロケーションシステム講習会を引き続き実施	市町村名：	市町村名：	市町村名：
バスロケーションシステムの積極的なPR。	その他の取組	乗降客カウントシステムのデータを活用した利用実態の把握に努めている。	・ホームページでの乗継案内 ・市役所において時刻表を配架 ・西知多総合病院内においてバスロケーションシステムの表示ディスプレイを運用	町役場において時刻表を配架	
関係者の連携等(△□)		年1回、関係各市町と情報交換を行っている。			

4. 今後の課題

課題と認識している事項					
運営主体(△)	沿線市町村(□)				
(知多市)バス利用者数は回復傾向にあり、利用者数の目標値は達成できたが、収入面での回復は思うように進んでいない。学生や会社員の利用促進を図る必要がある。	市町村名： 東海市	市町村名： 阿久比町	市町村名：	市町村名：	市町村名：
	双方のコミュニティバスの乗継が可能であることを周知し、利用者数の増加を図る必要がある。	双方のコミュニティバスの乗継が可能であることを周知し、利用者数の増加を図る必要がある。			
運行事業者(△)					
(知多乗合) 知多市コミュニティ交通に結節する他路線も含めて、地域全体で公共交通を活性化させる必要がある。					

5. 今後の取組

課題に対応した取組、その他の利便性の向上、利用促進の取組					
取組時期	運営主体の取組(△)	市町村の取組(□)			
R6年度、R7年度に行う取組	(知多市) ・バスロケーションシステムの積極的なPRと、システムを活用した利用実態の把握 ・バスの乗り方教室の開催等、バスの利用方法の啓発	市町村名： 東海市 東海市循環バスダイヤ改正(令和6年度予定)に向けて、あいあいバスとの相互の利用が可能なダイヤを引き続き検討する。	市町村名： 阿久比町 ・町役場において時刻表を配架	市町村名：	市町村名：

注. 評価にB、Cがある系統(市町村にあっては、目標の達成状況についての評価がB、C)、又は平均乗車密度が3.0を下回る系統については、具体的な取組内容と収支率の目標値を記載すること。

6. 地域公共交通計画(地域公共交通網形成計画)に記載した補助系統の目標と評価

	沿線市町村(□)			
目標	市町村名： 知多市 未策定	市町村名： 東海市 策定中	市町村名： 阿久比町 未策定	市町村名：
自己評価				

7. 補助系統に接続するフィーダー系統の利用・接続状況

沿線市町村(□)			
市町村名： 東海市	市町村名： 阿久比町	市町村名：	市町村名：
(R5年度) 東海市循環バス中ルート輸送人員：106,750人 東海市循環バス南ルート輸送人員：94,533人	カネスエバス停で阿久比町循環バスに接続している。乗降客数は年間約800人。ただし、阿久比町循環バスの運行本数が少なく、補助系統との接続もあり良くないため、乗り換えの需要は、西知多総合病院利用者以外はあまりないものと思われる。		

通信欄	(この欄は関係者間で付記したいことや特記事項がある場合に利用する。県バス対策協議会事務局からの依頼事項についても記載する。)
※マクロを用いて集計しますので、セルの結合は絶対に変えないでください	